



# 遅まきながら ヒエ退治!

豆まき感覚、  
カンタン除草!

こうなる前に!!



後次発生  
のヒエにも!!



製剤 (実物大)



水稲用ノビエ専用防除剤

# ヒエクリーン®

# 豆つぶ 250

特長

- 1.ノビエに対する強力な殺草効果** 移植水稲ではノビエ4葉期、直播水稲ではノビエ3葉期まで有効。
- 2.省力化の製剤** 10a当り250gで軽量。移植水稲での周縁散布可能。
- 3.長い持続効果** ノビエの後次発生を長期間抑える。
- 4.イネに優れた安全性** イネ・ヒエ間に高い選択性を有し、移植、直播とも適用可能。

適用雑草と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピリミノバックメチルを含む 農薬の総使用回数
移植水稲	ノビエ	移植後15日～ノビエ4葉期 但し、収穫45日前まで	250g	1回	湛水散布、 湛水周縁散布 または 無人ヘリコプター による散布	2回以内
直播水稲		稲3葉期～ノビエ3葉期 但し、収穫45日前まで			湛水散布または 無人ヘリコプター による散布	

上手な使い方

1.適期に散布する 持続効果が優れるので、早めの散布がお勧めです。

**移植水稲**

**直播水稲**

**2.散布薬量と使用方法**  
10アール当りの散布薬量は250g(1袋)です。「手散布」や「ひしゃく」、「動力散布機」などで散布してください。

**散布薬量**  
10アール当り  
**250g(1袋)**

**3.水管理(散布時)**  
やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にし、水の出入りを止めてから散布してください。

⚠ 注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- ノビエの発生前から4葉期(直播水稲は3葉期)に有効なので時期を失ないように散布してください。
- 苗の植付けが均一となるように、代かき及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 散布の際は、やや深めの湛水状態(水深5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
- 湛水散布の場合は面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 薬液・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、周縁散布をさけ、本田内で、水田全面に散布してください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさげてください。
  - 砂質土壌の水田及び漏水田(減水深が2cm/日以上)
  - 軟弱な苗を移植した水田
- 極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさげてください。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがありますが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていません。
- 無人ヘリコプターで散布する際は以下に注意してください。
  - 散布は使用機種の使用基準に従って実施してください。
  - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
  - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置のメタリング角度を調整してください。
  - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m以上離れて圃場内に散布してください。
  - 水源池、飲料水などに薬剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 吸湿性があるので、散布時に降雨の場合は濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めに使用してください。
- 散布した水田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 直播水稲に使用する場合、以下の点に注意してください。
  - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさげてください。
  - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。

詳しい使い方、  
登録内容とSDSは  
こちらから。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう

本資料は2018年10月現在の知見に基づいて作成されております。2390(24-5)